

# 令和6年度「ふるさと教師塾」振り返り

【第1回】3月8日(金)

【第2回】4月24日(水)

「教員採用試験対策講座①②」(講師:学校教育課課長補佐)

<参加者より>

- ・重要なポイントがわかりやすく自分のためになりました。
- ・緊張感が増し、意欲が高まりました。

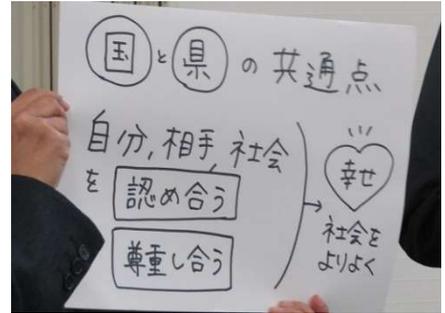


【第3回】6月5日(水)

「指導案の書き方について考えよう」(講師:伊藤育成指導主事)

<参加者より>

- ・この講義を実習前に受けたかったです。
- ・ねらい、めあて、まとめの整合性を大切に、日々の授業で実践していきたいと思いました。
- ・「授業の展開では、授業者の思いを詰め、子どもが感動する授業に」という言葉が心に残りました。
- ・生徒が学びたいと思える課題設定、学習活動になるように教材研究に取り組みたいです。

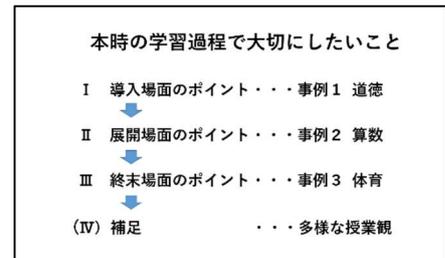


【特別回】6月26日(水)

「面接練習(教採2次対策)」

<参加者より>

- ・現場の先生方からの意見や助言をいただき、大変参考になりました。教えていただいたことを基に、自分の力を発揮できるよう全力を尽くしたいと思います。



【第4回】7月24日(水)

「子どもにとっての学びの充実を考えよう」(講師:増田育成指導主事)

<参加者より>

- ・導入、展開、終末、それぞれのポイントがよくわかりました。ねらいを明確にすること、生徒の実態に合わせた展開を工夫することなど、早速実践していこうと思います。
- ・実際に働かされている先生方と意見を交流でき、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。
- ・「ネガティブ・ケイパビリティ」のような多様な考え方をもっと学び、一人一人に合わせた指導ができるようになりたいです。

磐田市内で働く臨時講師、ふるさと先生に加え、社会人、学生など、34名の多様なメンバーが集まりました。グループワーク等を通して交流し、共に学びを深める場となりました。

## 【第5回】9月11日（水）

「『授業』しましょう～学びを深める教師の言葉について考える～」（講師：鶴田育成指導主事）

＜参加者より＞

- ・授業の発問について深く考えると、様々な視点や考え方があった。生徒の実態に合わせて、よりよい発問を追求していきたい。
- ・いつもティーチャーではなく、時にはコーチや一緒に考える人になるなど、場面によっていろいろな役割があるということがわかりました。



## 【第6回】10月9日（水）

「生徒指導～こんなときあなたならどうする～」（講師：久野育成指導主事）

＜参加者より＞

- ・実際にロールプレイを通して、自分の言葉を繰り返してもらったり、質問をしてくれたりすることで、自分のことをどんどん話しやすくなることを体感できました。教えていただいた傾聴スキルを活用して、生徒に安心感を与えられ、信頼してもらえるような教員になりたいと思います。
- ・他の人の対応や反応の仕方を見て、自分に足りないと感じたところや真似したいことが多くありました。これからの教員生活に生かしていけるようにしていきます。

## 【第7回】11月13日（水）

「『磐田の教育』の魅力とこれからの教育」（講師：山本教育長）

＜参加者より＞

- ・今の子どもたちにどのように教育を展開していけばよいかについて、山本教育長のお話からたくさん学ばせていただきました。特に印象に残ったのは、多様性が尊重される社会の中で、一人一人を認めて、誰一人取り残さないという意識をもつことの大切さです。全校種、全教科にあてはまることだと思いました。
- ・私は幼稚園と小学校の教員免許を取得する予定なので、幼保小連携の話はとても興味深かったです。子どもたちは、園生活で自ら遊びを通して学ぶ力があります。その子どもの力を信じて伸ばすことが、主体的な学びや探究的な学びにつながっていくのだと学びました。



○全7回の講義・演習を通して、現場の先生の考えなどを聞きながら学ぶことができ、とてもよい経験になりました。（学生）

○こちらの会では若い先生とも会う機会が多く、勉強になります。礎プランも卒業してしまいますので、次年度も参加していこうと思います。（教員）